

大阪市立恵美小学校 平成 28 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【小中一貫に向けて】</p> <p>○小小連携、小中連携に関する様々な活動を通して、平成 28 年度末の児童・保護者アンケートにおける「他校と交流している。」の項目について「とてもそう思う」「そう思う」と答える児童・教職員の割合が中間で 50%以上、年度末までに 55%以上にする。</p> <p>(マネジメント改革関連)</p>	A
<p>年度目標の達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 74%でたっせいできている。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①-1【区分 校種間・学校間連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中学校相互の授業参観を実施し、幼小・小小・小中の交流行事を充実させ、校種間の連携が深まるようにする。 <p>(マネジメント改革関連)</p>	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業参観や交流行事（幼小・小小・小中間）に一人一回は参加し、幼小・小小・小中のつながりを深めるとともに、各校種の児童・生徒の実態の違い、組織運営の違い等を知り、校種間連携が深まるようにする。 	
<p>結果と分析・次年度に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員どうしでは、中学校の教諭や養護教諭が授業や休み時間の過ごし方、給食の様子などを参観に来られた。小学校からも公開授業の参観を行い、小中間の児童生徒の実態の違いについて情報共有を行うことができた。 本年度は、新たに小学校間の特別支援学級同士での交流を行うことができた。 また、幼少連携も予定している。 校長、教頭、教務主任、養護教諭、特別支援学級担任、事務連携会議等で情報交換を行い、校種間連携を深めることができたが、全教職員が組織運営の違いを知るには至っていない。 	

<p>取組内容①-2【区分 校種間・学校間連携】</p> <p>担当者間で意見交流の場をもつ。</p> <p>(マネジメント改革関連)</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3 小主任会・4 校担当者会を開催し、小中一貫校に向けて意見交流の場を年 3 回以上もつ。 <p>結果と分析・次年度に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各担当主任会、各学年、各校務分掌ごとの意見交流の場を 4 校で 3 回以上持つことができた。 	B
<p>取組内容②【区分 校種間・学校間連携】</p> <p>小小・小中の児童同士や児童・生徒との活動の中で、交流できるようなふれあいの場をもつ。</p> <p>(マネジメント改革関連)</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6 年生以外の学年でも交流を実施し、全学年において幼小連携・小小連携・小中連携行事を実施する。 <p>結果と分析・次年度に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全学年が春の遠足で交流を行った。 ・ 3 小学校合同で芸術鑑賞会を行った。 ・ 特別支援学級が町探検の発表を交流した。 ・ 1 年生が日東幼稚園との交流を予定している。 ・ 1、2 年生が町探検の発表を日本橋小学校とテレビ電話を使って行った。 ・ 5 年生が 3 小合同で林間学習を実施した。 ・ 6 年生が 3 小合同で修学旅行を実施した。 ・ 6 年生が中学校で部活動体験を行った。 ・ 6 年生が中学校文化祭を見学した。 ・ 6 年生が 3 小学校で水泳交歓会、バスケットボール交歓会を行った。 ・ 6 年生がスポーツ交歓会で 3 小学校と交流した。 	B